

## 令和7年9月瀬戸内市教育委員会議 会議録

I. 開 催 日 令和7年9月30日(火)

II. 開会及び閉会 開 会 13時26分  
閉 会 14時34分

### III. 出席委員

教 育 長	萩 原 康 正
委 員	山 本 正
委 員	平 松 美 由 紀
委 員	金 光 一 雄
委 員	床 裕 子

### IV. 出席職員

教 育 次 長	山 本 正 樹
総務学務課長	河 原 克 仁
総務学務課参事	屋 敷 和 宣
総務学務課参事	片 岡 学
社会教育課長	櫻 田 智 子
中央・牛窓町公民館館長 図書館館長	富 岡 潤
長船町公民館館長	松 田 秀 太 郎
学校給食調理場所長	森 山 光 晴
総務学務課総務係長	藤 井 大 樹
総務学務課主事	富 浦 沙 樹

### V. 議事の内容

#### 1. 開 会

#### 2. 教育長報告について

萩原教育長 市議会で、学校体育館への空調設備の設置について今回も質問が出た。文科省の補助金をつかい、順次取り付ける予定だ。まずは、来年度中学校からスタートしたい。その後順次小学校にも取り付けていきたい。  
また、中学校部活動の地域移行についての質問も出た。国が示すといっている子どもたちの活動費の目安や保護者の負担割合が、現時点で示されて

いないので、予算化が難しい。

小中学校の児童生徒が家族旅行に行く日を、愛知県から始まったラーケーション(ラーニングバケーションの略)ととらえて、出席扱いにする制度を導入する方向で検討している。

全国学力学習状況調査の結果が、今年度は小出しに発表されていて、市町村別の結果は、本日発表される。結果に一喜一憂するのではなく、児童生徒の学力向上や教師の授業力向上にどう生かすかが重要だと考えている。

9月26日に文科省から県教委に教員の働き方改革の指針が通知されている。その中で、保護者からの過剰な要求やクレーム等への対応は、学校以外が担うべき業務とされている。市教委等への窓口の設置や弁護士の活用を図ることも明記されている。部活動も、教師以外が積極的に参画すべき業務と明記されている。学校だけでなく、地域と協力してしていく必要がある。

牛窓地区の3小学校のあり方について、来年度、地域の方にアンケートして意見を伺う予定だ。教育委員の方々や総務文教委員会の委員の方々に、実際に3小学校の授業の様子を見ていただく機会を設定したいと考えている。

### 【入賞・受賞等】

#### ◆中国大会

##### ○団体競技

・第41回中国中学校相撲選手権大会

【2位】操南相撲クラブ 長船中2年

##### ○個人競技

・第59回中国中学校陸上競技選手権大会

女子3年100m 【2位】邑久中3年

女子2年100m 【1位】邑久中2年

男子1年1500m 【4位】邑久中1年

男子1年1500m 【8位】邑久中1年

・第46回中国中学校バドミントン選手権大会

女子シングルス 【8位】邑久中3年

・第41回中国中学校相撲選手権大会

個人戦 【5位】長船中2年

#### ◆全国大会

##### ○団体競技

・第55回全国中学校相撲選手権大会

【ベスト16】操南相撲クラブ 長船中2年

・全国中学校ゴルフ選手権大会 文部科学大臣旗争奪 第18回女子団体の部

【5位】岡山学芸館清秀中学校 2年

##### ○個人競技

・第52回全日本中学校陸上競技選手権大会

男子3年1500m 【12位】長船中3年

## 【市議会関連】

- 9月定例会 9／2（火）～9／26（金）  
(提出議案)
- 議案第57号 濬戸内市B&G海洋センター条例の一部を改正することについて  
議案第71号 動産の買い入れについて ※（長船調理場）炊飯システム購入  
議案第72号 動産の買い入れについて ※（長船調理場）食器洗浄機・浸漬機購入  
議案第62号 令和7年度瀬戸内市一般会計補正予算（第2号）
- 一般質問 9／9（火）～9／11（木）
- アレルギーのため給食の一部分を持参する場合の補助の検討  
避難所となる学校体育館の空調設備の進捗状況
- 濬戸内市施設予約システム（オンライン予約と申請書、キャッシュレス決済等）
- 学校体育館での避難生活：夏場は過酷な状況（熱中症など）になると思うが、教室などの活用を考えないのか  
LED化の推進：幼稚園及び小・中学校の状況
- 市内の体育館（各体育館の利用状況等、今後の整備計画、空調設備計画）
- 真夏のスポーツ振興（体育館へのエアコン設置の検討状況）  
図書館の利用（トイレ便座消毒液の設置状況、長船図書館の利用者数を増やす取組）
- 体育施設の整備（長船スポーツ公園ナイター設備設置の検討状況など、邑久スポーツ公園野球場・芝グランドの整備状況と今後の計画、牛窓グランドなど）
- 中学校部活動の地域移行（具体的な予算措置、地域移行化した場合の責任の所在、施設確保のための今後の環境整備）
- 小・中学生の家族旅行や地域体験を「学び」とする出席制度
- 議案質疑 9／12（金）  
○ 総務文教委員会・予算常任分科会 9／18（木）  
○ 予算常任委員会 9／25（木）  
○ 本会議（討論・採決、閉会） 9／26（金）

## 【会議・行事関係】

- 総務学務課関係  
(学校園関連)  
・ 第2学期始業式（幼・小・中） 9／1（月）  
・ 参観日  
    美和小、行幸小 9／17（水）  
    裳掛小 9／19（金）  
    牛窓西小、国府小 9／24（水）  
・ 修学旅行 邑久小・今城小・裳掛小 9／25（木） 26（金）  
・ 運動会 牛窓東幼、牛窓東小 9／27（土）  
・ 文化的行事 邑久中（邑輝祭）、長船中（希絆祭） 9／27（土）  
※牛窓中（咲陽祭）は10／18（土）
- こどもみらいサポートセンター  
・ 2学期あいさつ運動 9／1（月）  
・ 教育支援センター（のぞみ教室）2学期開室 9／2（火）  
・ 早朝あいさつ運動（邑久駅・長船駅） 9／9（火）
- 社会教育課関係  
・ 第2回青少年健全育成推進事業実行委員会会議 9／2（火）

・明るい家庭づくり作文審査会	9／11（木）
・岡山県青少年育成県民会議瀬戸内地区連絡協議会第2回会議	9／12（金）
・第4回部活動地域移行推進協議会	9／19（金）
・地域学校協働活動推進員研修会・情報交換会	9／26（金）
○ 公民館	
(中央公民館)	
・災害時に役立つパッククッキング	9／13（土）
・パソコン講座：エクセルを使った簡単なExcel応用編	9／13、14、20、21
・パソコン何でも相談会	9／16（火）
・邑悠学級：「歌って笑って脳トレ広場」	9／18（木）
・めざせ喜之助！はじめての糸あやつり人形作り⑤	9／20（土）
・せとうちおもちゃの病院	9／27（土）
<文化があふれるまちづくり事業>	
・文化の種まき応援事業 オリーブコーラス 花のコンサート（秋・冬の章）	9／28（日）
<瀬戸内市民芸術祭>	
開会式	9／7（日）
酔聖会ウインドプラス定期演奏会	9／7（日）
MY・ゴロゴロスイッチコンテスト	9／13（土）・14（日）
(牛窓町公民館)	
・いきいき学級：「歴史を築いた岡山の女性たち」	9／12（金）
(長船町公民館)	
・男の料理教室④	9／4（木）
・ふれあい学級：秋の移動教室「倉敷方面」	9／26（金）
・うさぎの学校：ちびっこ運動会	9／30（火）
<菊づくり講座>	
大菊の部：見廻り	9／20（土）
盆栽の部：菊花展準備他	9／27（土）
○ 図書館	
・おんどく俱楽部よむもみわ	9／10（水）
・アマチュア人形劇団定期公演：どっこいはなまる	9／14（日）
・もみわシネマ：「トキワ荘の青春」	9／21（日）
・裳掛移動図書館	9／11（木）
・岡山県がん診療連携協議会連携展示	9／17（水）～9／30（火）
<おはなし会>	
市民：乳幼児対象	9／3（水）・17（水）
：幼児～小学校低学年対象	9／13（土）・27（土）
牛窓：幼児～小学校低学年対象	9／6（土）
長船：乳幼児対象	9／10（水）
：幼児～小学校低学年対象	9／20（土）
<おすすめ展示>	
市民：児童「ちいさい秋みつけた」	9／25（木）～
：一般「本で旅する47都道府県」	9／25（木）～
：中高生「瀬戸内市の芸術深堀り大作戦！」	9／25（木）～
牛窓：「この本読んでやってみたい 作ってみたい 行ってみたい」	9／25（木）～

長船：「アートを楽しむ」

9／25（木）～

<せとうち発見の道>	9／2（火）～11／30（日）
企画展 「竹田喜之助の仕事 一新収蔵資料展2ー」 (図書館友の会 協働提案事業)	
・特別企画 地域をよりよく知るための講演会 「地域の未来へ 濑戸内市の文化財と邑久高生の取り組み」 講師 竹原 伸之（岡山県立邑久高校 校長） (地域包括支援センター事業)	9／20（土）
・認知症サポーター養成講座 (放送大学公開講座) ・第1回「野菜栽培の基礎 秋野菜の注意点」 講師 吉田 裕一（放送大学客員教授） (瀬戸内市地域自立支援協議会事業)	9／13（土） 9／7（日）
シフォンケーキ販売	9／27（土）
(その他)	
・秋の交通安全県民運動 ※瀬戸内市出発式	9／21（日）～30（火） 9／19（金）

山本委員	家族旅行などが出席扱いになるというのは大きな変革だが、校長会で伝達しているのか。
萩原教育長	次回の校長会で伝達する予定だ。
山本委員	家族でいろいろな経験をすることは、子どもの成長に必要なことだ。しかし一方で、保護者の社会的・経済的格差が、子どもたちの社会的経験の格差につながってはならないと考える。そのため、いろんな人の意見を聞きながら、一定数の理解が得られるような運用の仕方が大切だと考える。
金光委員	家族旅行を出席扱いにすることの意義がまだよく分からない。
萩原教育長	始業式や終業式などの行事がある日やテストが行われる日などは、ラーニングセッションとしては除外日にする。意義については、親子のふれあいをしたいのだが、長期休業中は仕事上できないから、閑散期に旅行に連れていくたいという家庭がある。そのため、3日間くらいのラーニングセッションを認めようと考えている。
山本委員	今既に保護者の職業によっては格差が生まれている。この格差をなくす目的でのラーニングセッションなら、賛成の理由になる。
金光委員	保護者の格差を基準に学校教育の方向性を決めるものではないと考える。しかし、土日や夏休みなどに親子のふれあいができる家庭が、平日に旅行などをしやすくなる制度ならば意義がある。
金光委員	部活動の地域移行に対して、国から予算が出るのか。
萩原教育長	国は、保護者と県や市町村との分担を考えるとは言っているが、具体的な割合の提示はまだない。
平松委員	国が出す割合を提示してくれないと、市としての予算要求ができないので、早く提示して欲しいと思っている。
屋敷参事	9月になって学校が始まり、学校に行きにくくなっている子どもはいないか。 また、給食の残量が増えていないか。
森山所長	今のところ、2学期になって不登校になった子どもの報告は受けていない。 残量は毎日計ってはいるが、今その数字を持ち合わせていない。

### 3. 前回会議録の承認

署名委員 金光 一雄 委員 平松 美由紀 委員

### 4. 議 事

萩原教育長 議事進行

#### 第 45 号議案 会計年度任用職員の採用について

- 河原課長 (資料を基に説明)  
金光委員 看護師の採用は何か理由があるのか。  
屋敷参事 医療的ケアが必要な児童がいるためだ。  
全 委 員 <異議なし>

#### 第 46 号議案瀬戸内市スポーツ推進委員の委嘱について

- 櫻田課長 (資料を基に説明)  
全 委 員 <異議なし>

#### 第 47 号議案瀬戸内市における中学校部活動の地域移行基本方針の策定について

- 櫻田課長 (資料を基に説明)  
山本委員 活動場所の 1 つとして示されている市民センターとはどこか。  
櫻田課長 ゆめトピア長船が文化センターの役割をもっている。  
山本委員 ならば、市民センターという記述を削除して、公民館を前面に出して、ゆめトピア長船(瀬戸内市文化センター)を追記したらどうか。  
櫻田課長 検討する。  
山本委員 部活動が地域移行になって、教職員が兼職・兼業になってしまっても、教職員としての身分は変わらないのだから、教職員の服務規律は遵守しなくてはならないと考えるがどうか。  
萩原教育長 市教委としてもそのように考えている。まだ、そのようなことが明記された文章ができていないので、今後作成していく。  
金光委員 第 1 章の 1. 部活動の意義の「また、異年齢との・・・ありました。」という段落は削除していいと考える。  
櫻田課長 検討する。  
金光委員 各中学校ごとに「野球クラブ」や「バスケットボールクラブ」などを作る予定か。  
櫻田課長 種目によって、各中学校ごとにできるものもあれば、市に一つできるものもあると考える。生徒の所属する数にもよる。  
平日の部活動は、今後も学校教育の一環として行うので、それぞれの学校に

- ある部の中で行われる。令和10年度までに完全地域移行を目指すのは、土日などの休日のものなので、種目や参加する生徒数によってどれくらいのクラブが成立するかが決まってくる。
- 金光委員 懸念されるのは、土日のクラブには費用(月謝のようなもの)が発生することもあって、参加しないという生徒が多いのではないか。
- 萩原教育長 中体連の大会には、中学校名のチームとして出たいという学校が多いが、土日の大会は、クラブとして出場するなら、学校ごとのチームではなく、クラブのチームとして出場することになる。これをどうするかが問題だ。
- 当面平日は、従来通りの部活動。土日の大会に合同のチームで出場するのであれば、これも部活動。練習だけをするのであればクラブ活動ということになると想定している。
- 金光委員 平日の部活動も土日の大会も、従来通り教職員に指導のお願いをすることになる。また、クラブの指導も、一般の方だけでなく、やはり教職員にもお願いするケースが出てくる。
- 萩原教育長 今迄みたいにほぼ全員の教職員ではなく、できる人にだけお願いすることになる。
- 金光委員 月謝は、種目によって異なるのか。それともある程度金額を揃える方向で考えているのか。
- 櫻田課長 それも、国が方向性を示していないので、それが示された時点で検討する。今年度中に、社会教育課が、部活動地域移行の方向性を各中学校で説明する。質問は学校でなく、社会教育課の方で受け付ける。
- 萩原教育長 津山市が休日の地域移行を先進的に進めているので、費用の面など参考になる。
- 山本委員 他市町村から瀬戸内市に通勤している教職員を瀬戸内市の指導員として委嘱できるのか。他市町村に居住している教職員は、その居住地でしか委嘱できないということになるのが心配だ。
- また、月謝や移動費などに、市のバウチャー(各種サービスの利用券、クーポン)を充てること検討できないか。
- 萩原教育長 バウチャー制度を導入するなら、担当部署が教育委員会とは限らない。市として、学校教育以外で使えるバウチャーの検討を少しづつ始めている。
- 金光委員 岡山市教育委員会と岡山市以外の市町村教育委員会は、人事の管轄が違うので、地域クラブの委嘱についてどのようになるのか、よく検討しなくてはならない。
- 全委員 <異議なし>
- 萩原教育長 非公開審議を開始することを宣する。

**第 48 号議案 準要保護児童生徒の認定について**

<非公開>

萩原教育長 非公開審議を終了することを宣する。

**第 49 号議案 瀬戸内市特別支援教育就学奨励費支給要綱の制定について**

藤井係長 (資料を基に説明)

全 委 員 <異議なし>

5. その他

○次回開催日について

令和 7 年 10 月 30 日 (木) 10 : 00 から

6. 閉 会 (14 時 34 分閉会)